

令和4年度版

発達段階に応じた子どもの読書活動の推進 学校図書館と公共図書館の連携について

子どもが心豊かに成長していくためには、幼少期から読書の楽しさや知る喜びを体感することが大切です。本を読むことにより、子どもは感性や言葉を豊かにし、想像力を広げ、深い思考力を育むことができます。また、調べることを通じて、知識を得たり、様々な考え方に触れたりすることや、情報を活用する力をつけることができます。これらは、人の一生に関わる「生きる力」の獲得につながります。飯田市立図書館と学校図書館が連携して、市内すべての子どもが充実した読書活動を行えるように取り組みます。

飯田市立図書館
学校図書館担当者

新学習指導要領 → 「生きる力」 「学びに向かう力・人間性など」「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力など」
主体的・対話的で深い学び/言語能力の確実な育成/探究学習/社会に開かれた教育課程/カリキュラム・マネジメントの確立/情報活用能力の育成/外国語教育の充実/道徳教育の充実/理数教育の充実/体験活動の充実

発達	子どもの目指す姿、つきたい力			課題	今後取り組むべきこと	令和4年度取り組み
	目指す姿	つきたい力ー読書活動	つきたい力ー情報の活用			
小低	楽しんで読書 ～読むことに親しむ～ 想像力を育む	① おはなしを楽しめる ② 絵本から幼年童話へ移行できる ③ いろいろな本があることを知る ④ 読みたい本を自分で選ぶことができる (言葉を聞いて、文章を読んでイメージできる)	① 学校図書館の利用方法がわかる ② 図書館メディアの利用方法がわかる ③ 図鑑類で情報を集めることができる ④ わかったことをワークシートに書き抜くことができる	1 子どもの課題 1 読む力の不足・物語が読めない 2 黙読ができない 3 絵本から童話への移行時のつまずき 4 書棚から本を選ぶことができない 5 本に対する興味・関心の不足 6 読書に対して保護者の意識に差がある 7 目次や索引を使えない 8 辞書や百科事典を使えない 9 解説文を読み解けない 10 インターネットに頼りがちで、本で調べることができない	1 子どもの課題より 1・2・3・4・5 ・読書の楽しさを体感する機会づくり ・子どもが興味を持つ本の紹介 ・子どもが本を選ぶ際の支援の充実 ・分館を活用した地域の読書推進 6 家庭読書の呼びかけ、子ども読書への保護者の理解 7・8・9・10 ・調べ学習の基本プログラムの開発・共有 ・調べる楽しさを知る機会の提供 ・学校図書館・公共図書館で連携した情報リテラシー向上への取り組み	1 子どもたちに対する支援 1・2・3・4・5・6 ○学年別図書リスト「よむりす」の作成(公共・学校) ・小学校5年生が自分で読みたくなるようなリストを作成・配布し、有効な活用を図る。家庭への呼びかけも行う。 ・これまでに作成した、小学校1～4年生用リストの活用状況を情報共有し、有効な活用を図る。 ・子ども同士で本を紹介しあう企画 ○分館と学校図書館の連携した取組(公共・学校) ○自発的な読書につながる環境整備(公共・学校) ○中学生・高校生対象の本を通じた交流企画の実施(公共) 7・8・9・10 ○情報活用能力の育成に関わる環境整備(学校)
小中	幅広く読書 ～読む力を確かに～ 読解力の基礎・思考力を育む	① 長い文章を読み、物語を楽しめる ② 幼年童話から童話へ移行できる ③ 幅広い本の世界を知り、本を探ることができる ④ 必要な知識や情報を得る本を選ぶことができる	① テーマを設定し調べる方法を考えることができる ② 事典、新聞、パンフレット等で情報を集めることができる ③ 記録カードに記録することができる ④ 情報利用上の留意点がある(著作権、引用のしかた、出典の書き方等)	2 学校・指導者の課題 1 図書館管理システムが整備されていないため図書館業務が非効率で、蔵書を生かすことができない 2 図書購入費の不足 3 子どもにとって役立つ図書が不明確 4 学校司書の業務量が多い 5 司書教諭が役割を果たせていない 6 探究学習、調べる力を学年に応じてどのようにつけていくのか、市内の学校で統一した体系的な取組計画(カリキュラム)がない。 7 学校(司書)によって指導に差がある 8 任用期限が限られた職員がいるため図書館業務の継続性を保ちにくい	2 学校・指導者の課題より 1 図書館管理システムの導入 2 図書費の増額または公共図書館から学校図書館への物流支援 3 役立つ図書の情報共有、公共図書館ホームページやインターネットサービスの充実 4・6・7・8 ・学校図書館担当者の仕事量の調整とスキルアップ ・調べ学習の基本プログラムの開発・共有 ・学校図書館を統括し、公共図書館との連携の軸となる学校図書館担当専門主査ポストの創設(専任) ・学校司書継続配置 5 司書教諭の仕事量調整とスキルアップ	2 学校・指導者に対する支援 1・2・3 ○学校図書館へのwebOPACサービスの実施(公共) ○学校図書館システム導入に向けた情報収集 3 ○新学習指導要領に対応した図書の購入及び提供(学校・公共) ○市立図書館ホームページへ役立つ情報を掲載(公共) 4・6・7・8 ○学校図書館経営計画の作成(学校) ○情報活用能力育成指導資料を蓄積(学校) ○司書の資質向上を図る研修会(公共・学校) ○学校図書館・公共図書館連絡会の開催と合同研修会の実施(学校・公共)
小高	進んで読書 ～読みを広げ深める～ 判断力・表現力を育む	① 長編の物語を楽しむことができる ② 日常的に読書に親しむことができる ③ 本から情報を得て自分の考えを広げることができる ④ 読書を通じて世界の多様性に目を向けることができる	① 課題をつかむ際、ウェビングなどの発想法を利用することができる ② メディアの種類や特性がわかる ③ 情報を比較し必要な情報を選択することができる ④ 調べたことと自分の考えを区別できる			
中学	豊かな読書 ～自分を見つめる～ 読解力・思考力を高める	① 読書を通じて自分の世界を広げることができる ② 様々な考え方に触れ、自分の考えを深めることができる ③ 自分の生き方に役立てることができる	① 目的に合った発想ツールを使うことができる ② メディアの種類や特性を生かし活用することができる ③ 目的に応じたまとめ方ができる			
高校	生きる読書 ～未来を想う～ 判断力・表現力を高める	① 読書を通じて社会に関心を持つことができる ② 人生設計に役立てることができる ③ 資料や情報の価値を評価し判断できる	① 課題解決の戦略・方策を検討することができる ② 目的に応じて各種施設、人的情報源を利用することができる			